

にじ

高知医療センター 平成25年度初期臨床 研修医のご紹介……P2～P4

- 高知医療センター・ITセンターより「くじらネット」についてのお知らせ … P4
- 院内研修会のご報告
 平成24年度 高知呼吸器カンファレンス（呼吸器外科 科長 岡本卓）…… P5
- 第52回：医療センター職員による学会出張報告
 ①第32回日本医療情報学連合大会（ITセンター次長 町田尚敬）…… P6
 ②第32回食事療法学会（栄養局 十萬敬子）…… P7
- 高知医療センター・イベント情報 …… P8

6

JUNE.2013 Vol.92



平成25年度初期臨床研修医です！ご紹介はP2～4をご覧ください

い。高知医療センターの理念

医療の主人公は患者さん

平成25年度初期臨床研修医のご紹介

はじめまして！よろしくお願いします！

①所属 ②出身地 ③出身大学 ④趣味 ⑤好きな言葉 ⑥高知医療センターを初期研修の場所にした理由と今後の目標 ⑦地域医療機関の皆様へのご挨拶

今年度、高知医療センターの初期臨床研修医の皆さんをご紹介します。

(50音順)



池田 健太 (いけだ けんた)

①医科 ②高知県高知市 ③千葉大学 ④野球、スポーツ観戦、旅行、お酒 ⑤Don't put off until tomorrow what you can do today. ⑥地元の医療に少しでも貢献したいと思い、素晴らしい環境と、熱い先生方が沢山いらっしゃる高知医療センターを初期研修の病院に選びました。できないことだらけで迷惑ばかりかけていますが、初心を忘れず、真摯な姿勢で一つ一つ学んでいきます。そして高知の医療をより良いものにするために力になれるよう、努力していきます。⑦まだまだ知識も技術も未熟ですが、高知県でご活躍なさっている先生方から沢山のことを学ばせていただけたらと思っています。誠心誠意頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



浦田 知宏 (うらた ともひろ)

①医科 ②高知県高知市 ③岡山大学 ④体を動かすこと ⑤切磋琢磨 ⑥初期研修に高知医療センターを選んだ理由は、この病院が高知県の医療を引っ張っていく存在だったからです。また出身高校および出身大学の関係者も数多く在籍しており、頼りにできるという点も大きかったです。⑦はじめまして。県外の大学を卒業して高知県に帰ってきました。今後は高知の医療に一つでも多く貢献できるよう精進して参りますのでよろしくお願い致します。



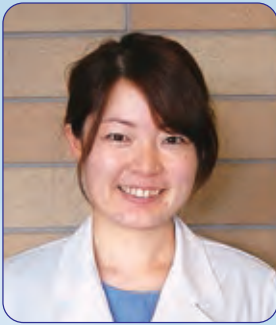
大浦 奈生子 (おおうら なおこ)

①医科 ②香川県琴平町 ③岡山大学 ④テニス、アニメ鑑賞 ⑤一期一会 ⑥様々な科において中四国医療の中核を担っており、大変勉強になると思えました。また、広大な自然に囲まれていて、田舎出身者としては何となく安心できると思い選ばさせていただきました。⑦今年から2年間お世話になります。勉強不足でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導よろしくお願いします。高知には住んだことがないので、美味しい料理とかお酒などまた教えていただけると嬉しいです。



大窪 秀直 (おおくぼ ひでなお)

①医科 ②高知県高知市 ③自治医科大学 ④スポーツ全般、音楽 ⑤いつやるの？今でしょ！ ⑥高知医療センターは、最先端の医療はもちろんのこと、地域医療の最後の要としての役割も担っており、将来地域医療に従事したいと思っている自分にとっては、全科を広く学ぶためにも、また、将来地域に出た時にお世話になる為にも、最も理想的な医療機関でした。学ぶことだらけなので、精一杯頑張ります、少しでも早く地域医療に貢献できればと思います。⑦まだまだ駆け出しで、皆様にはご迷惑をかけることばかりかとは思いますが、精一杯頑張りますのでご指導の程、宜しくお願い致します。



門脇 陽子（かどわき ようこ）

①医科 ②高知県 ③高知大学 ④映画鑑賞、ドライブ ⑤成せば成る！成さねば成らぬ、何事も。 ⑥高知県出身ということもあり、今後高知で働くにあたり、少しでも多くの経験を、と思い高知医療センターでの研修を決めました。各分野でご活躍されている素晴らしい先生方のご指導を頂き、日々精進し、11人の同期と励まし合いながら、切磋琢磨していきたいと思っています。 ⑦まだまだスタートラインに立ったばかりで、色々な事でご迷惑をおかけすると思います。地域に密着された医療を行われている先生方から多くのことを学ばせて頂きたいと思っておりますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



近藤 雄一郎（こんどう ゆういちろう）

①医科 ②高知県高知市 ③高知大学 ④釣り ⑤果報は寝て待て ⑥きれいな病院と豊富な症例数があり、研修には最適な環境だと思いました。この恵まれた環境の中で、一生懸命勉強し、経験を積み、立派な医師として独り立ちできるように頑張りたいと思います。 ⑦まだ国家試験に合格したばかりのひよっこですが、地域の医療に貢献できるようにまずは2年間の初期研修を頑張りますのでよろしくお願いいたします。



佐藤 真紀（さとう まき）

①医科 ②高知県高知市 ③自治医科大学 ④ピアノ、読書 ⑤一期一会 ⑥私は大学で地域医療について学び、初期研修後は高知のへき地医療に携わるつもりであります。医療センターは地域医療の要であり、様々な患者さんの集まる病院です。診療設備も充実しており基本から専門領域まで幅広く学べることから、医師としての基礎づくりには最適の環境であると思い志望致しました。 ⑦生まれ育った高知で働けることを大変嬉しく思っております。一日も早く皆様にご信頼いただける医師になれるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



田所 佑都（たどころ ゆうと）

①医科 ②高知県高知市 ③徳島大学 ④ゴルフ 音楽鑑賞 ⑤One love ,One heart. ⑥生まれ育った高知県での医療に貢献したいと思い、症例も多く高度な医療が行われている高知医療センターでの研修を希望しました。今後はいろいろな経験を積み、医師としてだけでなく人として成長していきたいと思っています。 ⑦はじめまして、田所佑都と申します。まだ右も左もわからない未熟者ですが、県民のみなさまの力に少しでもなれるよう、目の前のできることを一つずつ丁寧にやっていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



筒井 崇（つつい たかし）

①医科 ②高知県高知市 ③自治医科大学 ④バスケットボール、スポーツ鑑賞 ⑤継続は力なり ⑥自治医科大学出身で、初期研修後に地域医療に従事するという観点から、基幹病院であり、またへり搬送もできる高度な救急設備があるので、豊富な症例数を経験でき、将来の地域医療に活かせる研修ができると考え、高知医療センターを初期研修病院に選びました。 ⑦高知県の地域医療機関の皆様、初めまして。右も左もわからない未熟者ですが、高知県の地域医療に貢献できるよう、日々精進したいと思っていますので、ご指導、ご鞭撻の程、宜しく願い致します。

（次頁に続く）

平成25 年度初期臨床研修医のご紹介

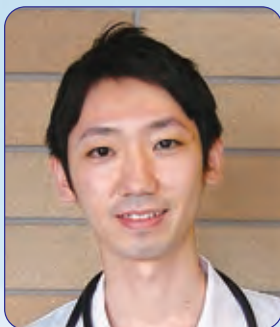
①所属 ②出身地 ③出身大学 ④趣味 ⑤好きな言葉

⑥高知医療センターを初期研修の場所を選んだ理由と今後の目標 ⑦地域医療機関の皆様へのご挨拶



出原 悠子（ではら ゆうこ）

①医科 ②高知県高知市 ③北里大学 ④家でまったり ⑤感謝 ⑥高知で生まれ育ったので高知の人の役に立ちたいと思い、高知医療センターでの研修を希望させていただきました。患者さんに寄り添い、かつプライマリーケアのしっかりとできる医師を目指したいです。⑦4月から研修医として働き始めて、はじめは右も左もわからず戸惑うことも多かったのですが、患者さんや優しい先生方、医療スタッフの方々に支えられながら勉強させていただいている毎日です。まだまだ未熟ですが、日々成長できるようにがんばりますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。



栢元 佑大郎（はぜもと ゆうたろう）

①医科 ②宮崎県 ③高知大学 ④バスケ ⑤おもしろきこともなき世をおもしろく ⑥高知医療センターは研修に必要なほぼすべての診療科を備えており、また各診療科の垣根が低く手技や知識を幅広く学べるのではと考え初期研修の場を選ばせていただきました。今後は自分で考え初期対応ができる、上級医の先生方に相談するときもある程度自分の考えを持ち、情報をそろえた上で相談できるような研修医を目標にがんばっていきたいと思っています。⑦わからないことだらけで色々とお迷惑をおかけするとは思いますが、よろしくご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。



高知医療センター・ITセンターよりお知らせ

「くじらネット」Windows8 と Mac OS X が使用可能となりました。

文責：ITセンター・北村 和之

✓くじらネットがご利用可能なパソコンとして Windows8 と Mac OS X 10.8 (10.7、10.6) が新たに加われました。

✓また WEB ブラウザも Internet Explorer 10、Safari がご使用できるようになりました。

なお、Mac OS X はパソコンの画面展開スピードなどを考慮し 10.6 Snow Leopard からをご利用環境として推奨させていただきます。詳しくは下記の表をご確認ください。

パソコンのスペックについて

くじらネットの接続に必要な端末環境を以下に示します。

  OS	Windows 8 (32 ビット /64 ビット) (Windows 8、Windows 8 Pro) Windows 7 (32 ビット /64 ビット) (Ultimate、Professional、Home Premium) Windows Vista (Service Pack 2 以上) (Ultimate、Business、Home Premium、Home Basic) Windows XP (Service Pack 3 以上) (Professional、Home Edition、Media Center) Mac OS X 10.8 (10.7、10.6) ※64 ビット版 Windows では、32 ビット互換モード (WOW64) で動作します。 ※2013 年 5 月現在、iOS、Android OS、LinuxOS はご利用できません。
CPU/メモリ	推奨要件：2.0GHz 以上のプロセッサ、2GB 以上の実装メモリ 最低要件：最低 1.7GHz のプロセッサ、512MB の実装メモリ ※快適にご利用いただくには、推奨要件以上の環境をお勧めします。
ハードディスク 空き容量	100MB 以上の空き容量
WEB ブラウザ	Internet Explorer6～10、Safari5～6 ※Firefox、Chrome、Opera はご利用できません。





平成 24 年度の高知呼吸器カンファレンスは、2013 年 3 月 30 日の 16 時から 18 時 30 分にかけて、高知医療センター・くろしおホールで開催されました。本会は、高知医療再生機構の専門医養成支援事業の一環として、2012 年より開催しています。昨年は「間質性肺疾患」をメインテーマにした会でした。今年は「悪性胸膜中皮腫」をメインテーマにした講演、そして「症例から学ぶ」と題して、多くの紹介患者さんの症例提示により報告会を兼ねて知識を深めていく会となりました。



学会会場にて

カンファレンスの前半では、①当院での末梢小型肺癌（2 cm 以下）に対する術前気管支鏡の診断率（約 70% 前後）の報告、②気管支鏡などで診断がつかない微小病変、検査困難部位や縦隔病変の外科的診断法の提示などがございました。講師のお二方にも、専門的な研究教育施設での現況、取組みなどをコメントいただきました。当院でのさらなるステップアップが期待されるものでございました。

後半の中皮腫についてですが、アスベストが肺癌、悪性胸膜中皮腫に直接関係していることが徐々に周知されつつあります。数年前は、アスベストに対する国の対応が注目されていました。最近では、国の対応やマスコミの動きなどが一区切りつき、申請など改訂も少なくなりました。少しずつ軌道にのりつつあるように思われます。年間の全国患者数が 1000 例と一般臨床医が接することが少ない本疾患は、引き続き診断、治療において最新の知見を得ていく必要もがございます。診断方法がまだ十分普及していない点、施設において診断・治療に温度差がある点、治療方法もまだ十分確立したものがない点、根治的治療（手術を含めた抗癌剤放射線治療）の侵襲も大きく、臨床の現場では診断と治療につねに苦労している状況がございます。

そのような中、「悪性胸膜中皮腫の診断と治療 - 現況と今後の展望」という形で特別講演を開催させていただきました。講演の座長は、香川大学医学部呼吸器乳腺内分泌外科 教授 横見瀬裕保先生、講師の先生は、兵庫

医科大学呼吸器外科教授 長谷川誠紀先生にお願いいたしました。兵庫医科大学は、悪性胸膜中皮腫の専門的治療研究を行う日本の代表的な施設でございます。長谷川先生は、定型手術とはいえ累積 100 例を超える大きな手術「胸膜肺全摘（extrapleural pneumonectomy, 以下 EPP）」を手掛けておられます。通常の肺全摘に、さらに肺を包む膜を全切除する術式です。侵襲が大きい中、成績のわるい IIIA 期の肺癌とほぼ同程度の 5 年生存率がえられ、今後の結果に期待したいところです。手術治療に放射線、抗がん剤治療を加える Tri-modality-therapy が悪性胸膜中皮腫に対する効果的な治療になる可能性があります。

また定型的な胸膜肺全摘（EPP）に加え、肺実質を温存する Pleural Decortication（胸膜切除・肺剥皮術）の術式をご紹介いただきました。本手術はおそらく日本ではごく一部の施設しか経験のない術式と思われます。肺実質の切除は伴わないものの、壁側胸膜と臓側胸膜を切除する方法で、文字通り肺実質がむき出しになります。特別な術後管理を要する特殊な手技の進捗状況につきご教示いただきました。

総勢医師 24 名、その他 26 名、合計 50 名の参加の下に盛会裏に終了いたしました。

専門医養成支援事業は、上記のような形でより専門性に特化した内容を企画し、各種の講演・指導を賜るようにはしております。平成 24 年度は、新規・更新を含めてのべ 5 名の専門医資格を得ることができました。がん治療認定医試験に新規 2 名が合格認定、日本臨床腫瘍学会暫定指導医更新に 1 名合格認定、日本外科学会専門医更新に 1 名が合格認定、呼吸器専門医試験に新規 1 名が合格認定となりました。1 年間にわたり活動し、2013 年 3 月の高知呼吸器カンファレンスで年度内の業務を終えました。事業対象者の先生方の貢献、ならびにサポートしていただいた事務局スタッフにこの場を借りて御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



第 52 回：医療センター職員による学会出張報告①

高知医療センターの職員はいろいろな学会に参加しています。そのなかから、学会レポートをご紹介します。

第32回日本医療情報学連合大会 (第13回日本医療情報学会学術大会) in 新潟 2012.11.14 ~ 17

IT センター次長 町田尚敬



学会会場前にて：町田尚敬（右）
医療情報技術師 北村和之（左）

去る 11 月 14 日（水）から 17 日（土）の 4 日間にかけて日本医療情報学会が新潟市において開催されました。

日本医療情報学会は、保健・医療・福祉という分野での情報化を取り扱う学会であり、医師だけでなく、他の医療職種に加え一般事務職や

行政職、IT ベンダも参加する学会です。今年は医療情報学会が主体となって取り組んだ医療情報技術師育成事業 10 周年記念大会ということもあり、IT センターより 4 名の医療情報技術師が参加しました。

皆さんには医療情報技術師という職種は馴染みが薄いと思いますので、医療情報技術師について紙面をお借りして少し紹介をさせていただきます。医療情報技術師は、政府の医療情報化施策の進展とともに求められ誕生した資格職種です。

2001 年に厚生労働省が発表した「保健医療分野の情報化に向けてのグランドデザイン」中で、医療の IT 化には「保健福祉分野に特有な情報システムの運用のための IT 技術者の養成」が必要であると記述され、これからの病院には医療情報を専門的に取り扱う人材が必要であるとの認識を示しました。

この IT 技術者の育成を目的として、日本医療情報学会が 2003 年より開始したのが医療情報技術師能力検定試験です。民間資格ですが、毎年 3000 名から 4000 名を超える受験者があり、10 年目でようやく合格者が一万名を突破したとこ

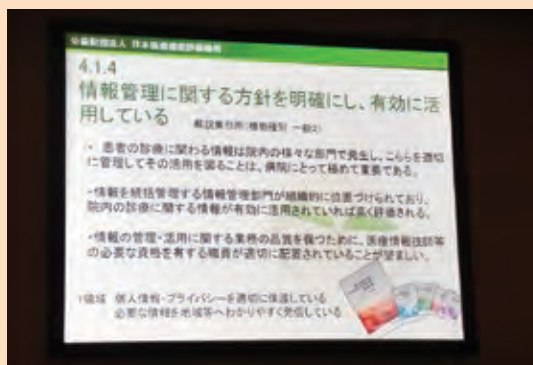
ろです。高知県では 2011 年現在で 51 名の方が資格を取得しています。

当初の医療情報技術師像は、「情報システムの構築と運営に向け、医療職種と、IT 技術者との通訳ができる人」という技師像でしたが、電子カルテの普及と DPC 制度の導入で標準的な情報が整備されるにしたがって、「業務運用の効率化だけではなく、日々集積される診療データを利用した DPC 分析や臨床評価指標の算出による病院経営への貢献、クリニカルパスや地域連携パス、地域医療連携システムなどを活用した医療の質の向上や地域連携等への貢献ができる」技師像へと変化してきています。

当院でも病院事務職にも固有の資格職種が必要との認識と、診療データの解析と分析は外部業者任せにせず自前で行うものとの認識から、2011 年度より医療情報技術師としての採用試験を実施し、2 年間で医療情報技術師 2 名を採用いたしました。また、在職者の資格取得も奨励し、医療情報技術師検定に 3 名が合格するなど、現在 IT センターには 5 名の医療情報技術師が勤務しています（臨時職員含む）。

学会の話に戻りますが、シンポジウムにおいて「地域医療の推進、クラウドの育成、スマートフォン・タブレット等の普及により、考慮しなければならない通信・認証・データ交換・セキュリティなどの技術範囲も格段に広がってきており、医療技術者の育成を重要課題と位置づけている（JAHIS）」といった発言や、「すぐれた IT システムを構築することも重要であるが、現在では電子化された医療情報を活用することが中心課題となってきている。人材の重要性は高まっているので、データに対する感受性を磨いてほしい。（厚生労働省）」といった発言が相次ぎ、医療情報技術師の役割に対する期待と重要性の高まりを感じました。

また、先進施設での携帯端末を用いた無線 LAN システムの構築や GIS ソフトを利用した診療圏分析による病院運営の指標づくりなど、これから当院が取り組むべき課題への具体的な対応方法など参考事例の収集を行うことができました。



大会2日目学会企画「医療情報技術師育成事業 10 周年記念フォーラム」。病院機能評価 V6 では、医療情報技術師などの有資格職員の配置に言及



大会3日目、シンポジウム4「ITによる地域医療連携のあり方」より。ネットワーク下での情報提供の留意点の検討





第 52 回：医療センター職員による学会出張報告②

第32回食事療法学会 in 軽井沢 2013.3.2～3

栄養局 十萬敬子



学会会場前にて：栄養局 森本智代(右)、十萬敬子(左)



本学会の精神を永遠に継承するために、第3回食事療法学会で制作・鑄造された、シンボルの鐘

第32回食事療法学会が、「命に寄り添う～急性期から慢性期・在宅までの栄養管理～」をテーマとし、3月2・3日の2日間、長野県軽井沢市で開催されました。その日の気温は3℃～-2℃と高知に比べるとかなり寒く、氷が張った湖に感動しました。

食事療法学会は、日本栄養士会医療職域事業部の全国研修会として、昭和57年に第1回開催以降、年1回、3月の2日間、全国病院栄養士協議会主催で開催されます。学会の目的である、疾病予防を第一目標とし、罹患患者に早期かつ適正な治療として「栄養食事療法」が重要であるとの考えのもとに発達されています。

今回の基調講演では、「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012 年版改定のポイント」、文化講演では、善光寺大本願法主鷹司誓玉(たかつかさせいぎょく)台(だい)から「命と食」、学術講演では、「食事療法に時間栄養学を応用する」、教育講演では、「慢性腎臓病・血液透析患者の栄養管理」、パネルディスカッションでは、「急性期から慢性期の栄養管理と地域連携」など今興味深い内容が多く盛り込まれていました。

まず、「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012 年版改定のポイント」では、わが国における動脈硬化性疾患のうち最も高頻度の脳血管疾患が、1960 年代に食塩摂取制限という食習慣は正キャンペーンにより、高血圧の頻度が減少し、これをピークに脳血管疾患による死亡率は心血管疾患と同じところまで減少した。しかし、心血管疾患については、戦後徐々に増加し、脳梗塞も 2000 年以降減少がみられない。動脈硬化性疾患の危険因子として、高血圧に変わり LDL- コレステロールや肥満・糖尿病が問題となっている。今回のガイドラインでは、動脈硬化予防のための生活習慣改善として、禁煙、食事療法や運動療法、薬物療法について記載されている。ア

メリカでは 1960 年代に心筋梗塞予防の為に、禁煙指導、コレステロール低下食、食塩制限などの徹底したキャンペーンの結果、心筋梗塞死 50% 減少、脳血管疾患 60% 減少している。これらのポイントにより疾病コントロールにつながることが期待されます。

次に、「食事療法に時間栄養学を応用する」講演の重要ポイントとして、栄養バランスのとれた朝食を必ず摂取し、エネルギー配分は朝：昼：夕 = 3:3:4 が良いといわれているが、21 時以降の食事は軽食が分食にすること。糖尿病諸指標においては、エネルギー摂取量を夕食で減らし、朝食で増すと改善がみられるとのことであった。食べる速度は一口 25 回程度噛み、摂取順序は繊維の多い惣菜を先に食べ、GI (glycemic index: 血糖上昇係数※GI の高い食品ほど食後血糖上昇率が高くなる) を下げ急激な血糖上昇を抑えること。また、栄養素や生理活性物質には有効な摂取時刻があり、少量のお菓子なら BMAL1 (体内時計をリセットするたんぱく質、脂肪細胞に脂肪をため込む働きをする) の少ない昼間に摂取した方が良いといわれており、高血圧等の厳しい 1 日の減塩食もアルドステロンの分泌が少ない夕食を緩めに行ける場合がある。このように、時間栄養学を活用すると、無理なく患者さんが食事療法を継続できることが期待されます。また、これらの内容は、私達が日頃栄養指導時に説明していることを改めて再認識させるものでした。

「慢性腎臓病・血液透析患者の栄養管理」では、全国の透析患者の割合は 400 人に 1 人となっており、患者の食事摂取状況・体重・アルブミン・プレアルブミン・BNP・PCR 変化などから栄養状態を把握した栄養管理が必要であること、特に高齢者においては、たんぱく質摂取が少なく、漬物や佃煮類など塩分で米飯を食べている背景もあることから、十分なエネルギー・たんぱく質の摂取を指導し、体重減少や栄養指標の悪化を起こさせない注意が必要との内容でした。

学会開催地である長野県は、全国平均寿命男性 1 位、女性 5 位 (2012 年) となり、長寿県となっていますが、脳血管疾患死亡率は全国でも高い割合となっています。やはり、信州そばや味噌汁は、私には味が濃いように感じました。今回の学会参加を通して、食事療法の重要性を改めて感じた 2 日間でした。今後も管理栄養士として、患者さんの命に寄り添い、少しでも患者さんの栄養管理に役立てられるよう、食事療法の重要性をチーム医療で実践していこうと思います。



日	曜	高知医療センター イベント情報 6月～									
5	水	糖尿病治療の今日的課題・糖質制限食と合併症管理システム・									
		講師	副院長 深田 順一		場所	高知共済会館3F 桜の間		時間	14：00～16：40	対象	医療機関
		お問い合わせ：高知県 食と栄養の会 事務局 高知県健康政策部食品・衛生課気付月・水・金 10:00～16:00 担当（浦部） TEL088（823）9672									
14	金	高知医療センター新人看護師研修 他施設公開研修									
		研修名	高齢者ケア1			講師	老人看護専門看護師				
		場所	高知医療センター1 F研修室2,3			時間	15：00～16：30	対象	新人看護師		
お問い合わせ：高知医療センター・看護局 教育担当（田鍋、野中）											
15	土	第29回地域医療連携研修会（参加費無料、事前申込不要）									
		内容	看護師が行う中心静脈リザーバーの管理			講師	がんセンター長 森田 荘二郎				
			中心静脈リザーバーの管理				看護局 日本 IVR 学会認定 IVR 看護師 小野文恵				
		場所	高知医療センター2F くろしおホール			時間	14：00～15：40	対象	医療関係者、		
一般お問い合わせ：高知医療センター 地域医療センター 地域医療連携室 担当（井上・早瀬）											
16	日	高新・高知医療センターがんセミナー・2013（参加費要、事前申込要）									
		内容	肺がん治療の最近の動向			講師	呼吸器外科 科長 岡本卓				
		場所	高知新聞放送会館東館 8F81 号			時間	10：30～12：00	対象	一般（70 名）		
主催：高知新聞社、高知医療センター 協賛：アフラック高知支社 主管：高知新聞社 お問い合わせ：高新文化教室 TEL:088(825)4322（受講料 9600 円 / 全 12 回、1500 円 / 1 回）											
20	木	高知医療センター新人看護師研修 他施設公開研修									
		研修名	救急看護1			講師	院内インストラクター3名				
		場所	高知医療センター2 F 2 0 5 スキルスラボ室			時間	13：00～17：00	対象	新人看護師		
お問い合わせ：高知医療センター・看護局 教育担当（田鍋、野中）											
24	月	第 6 回ドクターヘリ事後症例検討部会									
		内容	ドクターヘリに関する症例報告			場所	高知医療センター2F くろしおホール				
		時間	17:30～			対象	医療従事者、消防関係者				
		お問い合わせ：高知医療センター・事務局（久保）									

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

2月より地域医療連携室でMSW(医療ソーシャルワーカー)の事務補助を主な業務として勤務しています。医療機関での勤務経験はなく、お恥ずかしい話、MSWという職種があることさえ知りませんでした。転院調整、医療費の助成制度の案内、その他様々な患者さんやご家族の相談に、個々の状況に応じて日々目まぐるしく対応しているMSWを、同じ働く女性として尊敬しています。また介護保険や自立支援など今まで身近になかった制度などにも携わり、“知識の泉”が少しずつ増えているように感じる今日この頃です。私自身が直接患者さんやご家族、地域の医療機関の皆さまと接する機会はありませんが、MSWが円滑に業務を遂行できるように努め、地域医療に貢献できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。(地域医療連携室 小林)



平成25年6月1日発行
にじ 6月号(第92号)
責任者：武田 明雄
編集人：地域医療連携広報委員
特別編集委員
発行元：地域医療センター
地域医療連携本部
印刷：株式会社高陽堂印刷
高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL: 088 (837) 3000 (代)

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp
Kochi Health Sciences Center Home Page : <http://www.khsc.or.jp/>